

人にも生きものにもやさしい コウノトリの里

ひな人形と花のまち

鴻巣市は、埼玉県のはほぼ中央に位置し、都心から50km圏内とアクセスが良好であることから市街化が進む一方、南西部に荒川が流れ、郊外には田園地帯が広がるなど、利便性の高い都市基盤と豊かな自然環境が調和したまちです。

江戸時代には中山道の宿場町として栄え、長い歴史と伝統を誇る「ひな人形のまち」として、近年では全国有数の「花のまち」として

知られています。

また、本市には、「荒川の川幅」「ボピーの栽培面積」「1分あたりの尺玉以上の花火打上数」「ピラミッドひな壇の高さ」など多くの日本一があり、「このす花まつり」「このす花火大会」「鴻巣びっくりひな祭り」など、これらの日本一を堪能できる各イベントに



コウノトリ（空・花）



川幅うどん

は、毎年、市内外から多くの皆さんにご来場いただいているほか、川幅日本一から考案された「川幅うどん」は、さまざまなメディアに取り上げられ、B級グルメとして親しまれています。

全市的なSDGsの推進

1SDGs未来都市に選定

本市では、市名の由来とも言われる「コウノトリ」をシンボルとして、「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 このす」の実現を目指し、コウノトリが住める豊かな自然環境の保全をはじめ、コウノトリのイメージと親和性の高い妊活・子育て支援、生きもの観察会などの環境教育、「このとりブランド」の確立に向けた事業者支援など、さまざまな分野で取り組みを進めてきました。

令和3年10月には、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」において、2羽のコウノトリの飼育を開始し、将来的な放鳥を目指しています。

このような環境づくりを土台として、子育て・教育の充実、まちにぎわい創出など、社会・経済分野に波及させていこうとする本市のまちづくりが評価され、令和5年5月に「SDGs未来都市」に選定されました。

1SDGsの達成に向けた行動変容

令和6年度は、「SDGsの推進」を市政運営の柱の一つに掲げ、全市的な視点で取り組んでいます。主な取り組みの一つ目、「SDGs未来会議」は、持続可能な社会の創り手となる中学生が、SDGsについて学び、「自分ごと」として地域課題の解決に向けた行動に結び付けるとともに、自由な発想による提案を今後の市政運営に生かすことを目的に、また、「こどもまんなか社会」の実現に向けた子



未来会議集合写真



SDGsの取り組みを市ホームページで紹介するなど「見える化」し、パートナー間の連携を促進することを目的として、本

どもたちの意見聴取の場として開催し、市内8中学校各校の代表3人により、市への提言のほか各校での今後の取り組みをSDGs宣言として、市執行部へプレゼンテーションしていただきました。

二つ目として、「このとりSDGsパートナー制度」では、市内で活動する事業者らが実施するSDGsの取り組みを市ホーム

年5月にスタートしました。現在では、約60の事業者らに登録いただき、取り組みの輪が広がっています。

これに合わせ、パートナーとの一体感を創出するためオリジナルロゴマークを制定しました。このロゴマークには、SDGsの達成に向け、市民や事業者などの皆さんと共に幸せな社会を実現し、本市の明るい未来を育てていくといった思いが込められています。

このほか、子どもから大人まで幅広い年代の方々がSDGsを楽しく学べる「このとりSDGsフェスティバル」や市、地域団体、事業者などが実施するSDGsに関連する活動を対象にポイントを付与し、市民のほか、市外の方にも参加いただくことで、関係人口の創出や地域経済の活性化を目指す「SDGsポイント制度」を展開していきます。

次の10年に向けて

本市は、昭和29年9月に埼玉県で17番目の市として誕生し、本年度市制施行70周年を迎えました。70周年に当たり、市民の皆さんからキャッチコピーを募集し、市民

投票を実施した結果、「なないろの笑顔咲かせる 鴻巣市」が選ばれ、10月1日に挙行了した記念式典をはじめ、さまざまな機会を通じて活用を図っています。また、市制施行70周年を市内外に発信していただけるPRパートナーを募集したところ、100を超える事業者に協力いただき、PRポスターの掲示、PRラッピングトラックの運行、記念セールの開催など、

さまざまな形で節目の年を盛り上げていただいています。今後も、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出すまちづくりとして、「(仮称)吹上コスモス保育園」の新設や「(仮称)道の駅このす」の整備、川里地域における義務教育学校の設置などを計画的に進めることで本市のポテンシャルを一層向上させ、持続可能な鴻巣市の実現を目指していきます。

プロフィール

- ◆ 面積 67・44 km²
- ◆ 人口 11万7540人
- ◆ 世帯数 5万3397世帯

〔将来都市像〕花かおり 緑あふれ人輝くまち このす
〔まちの特徴〕豊かな自然、花々に彩られた住環境、地域に根差した歴史と文化を有する利便性の高いまち

〔市町村合併〕平成17年10月1日、鴻巣市、吹上町、川里町の1市2町が合併



鴻巣市長
並木正年



〔特産品〕ひな人形、赤物、花卉、梨、いがまんじゅう
〔観光〕日本一広いポピー畑、荒川の川幅日本一、元荒川の桜並木、花と音楽の館かわさと「花久の里」
〔イベント〕このす花まつり、このす花火大会、おとりまつり、コスモスフェスティバル、鴻巣びっくりひな祭り

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり育むまち 高砂

おめでたいまち「高砂」

高砂市は、兵庫県の中央部、瀬

戸内海播磨灘に面し、兵庫県の約21%の流域面積を持つ加古川の河口に位置しています。市域北部にある、凝灰岩でできている丘陵部は、古墳時代に石棺として西日本各地で使われた竜山石の産地です。日本全国で確認されている石



石の宝殿

棺の35%は竜山石製で、1700年以上前から現在まで採石が続いています。また、宝殿山には、浮いているように見える竜山石の巨石「石の宝殿」が国史跡に認定されており、新たなパワースポットとして海外を含む多

くの人から注目されています。

また、江戸時代に湊として栄えた高砂

から輩出した工楽松右衛門

が丈夫な帆布を考案し、全

国の海運の発展に寄与したこと

から、高砂・堀川周辺地区は、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」にも認定されています。

結婚式などのおめでたい席で謡われる「へ高砂や」この浦舟に帆を上げて」で知られる謡曲「高砂」をご存じでしょうか。また、結婚式や披露宴で新郎新婦が座る席を「高砂」と言いますが、この



尉と姥 謡曲「高砂」より



尉

おめでたい「高砂」という言葉は、ここ、高砂市のことです。

室町時代に世阿弥によって作られた謡曲「高砂」は、未永い夫婦の愛を取り上げていることから、結婚式で謡われるようになりまし

た。私自身も謡を学び、披露する機会を通じて、「高砂」の普及に努めております。

昭和29年に誕生した高砂市は、

本年、市制70周年を迎えました。大正13年、市内企業への工業用水供給を始めた水道事業100周年と併せて、大変おめでたい年を迎えています。豊かな自然や水の恵みを背景に、古来より物流の集積地として栄えたわがまちは、水道事業の開始に伴って産業、ひいては市勢の発展を遂げました。

先人から受け継いだ恩恵を次世代へ継承するため、「人結び 夢結び 未来を結ぶ 高砂市70周年」をキャッチフレーズに、さまざまな記念事業に取り組んでいます。

工業都市とゼロカーボン

豊富な水源、遠浅の海岸線、大都市に近い地理的要件から企業立地の好条件に恵まれ、積極的に工場を誘致したことで、本市の臨海部には世界有数の企業が進出し、播磨臨海工業地帯の中核を担っています。

一方、工業都市であるが故に、産業部門の二酸化炭素排出量が全国平均を大きく上回るなど、課題も



市ノ池公園の新しい大型複合遊具

使いたくなる公園へ

抱えています。このため、令和5年3月に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言し、事業者と連携して脱炭素化に向けた施策、技術動向などの情報収集・共有などを行っています。新たなエネルギーイノベーションやビジネス創設も支援するなど、地域全体で脱炭素社会の実現を目指しています。

本市では、未来を担う子どもたちが楽しめる公園施策を推進しています。市北部に位置する市ノ池

公園では、アンケートを反映したアスレチック遊具の新設やトイレの洋式化、大型遊具のリニューアルを行い、満足度が向上しました。

また、臨海部にある向島公園は県立高砂海浜公園など周辺施設との一体運営が始まり、バーベキューエリアやサップ体験が人気を集めています。「むこうじまフェスタ」や音楽とレーザーで彩られた花火の祭典「ナイトファンタジーイリュージョン」などのイベントには多くの市民が集い、海辺の憩いの場として定着してきました。

暮らしの利便性を高める

本市は、住んでみたい、住み続けたいまちを目指し、駅周辺整備を重点施策とした取り組みを進めています。特に、事故防止や地域の分断解消に向けた山陽電鉄（高砂市域）連続立体交差事業は、魅力的な駅前空間によるまちのにぎわい創出にもつながることから、地元まちづくり協議会とも連携を深めています。また、JR曾根駅の自由通路等整備および駅舎橋上化やJR宝殿駅南道路の改善により、交通の円滑化と市民生活の利便性

向上が見込まれ、地域全体のストック効果も期待されています。

笑顔あふれるまちを目指して

人口減少が避けられない時代を迎え、公共サービスを維持し、市民の暮らしを支えていくためにも、未来を担う子どもたちへ質の高い環境をつくり、社会の創り手を育てる施策や、地域医療の確保、防

災力の強化に取り組んでいます。次の10年、そして来たるべき100周年に向けて、全ての世代の「笑顔あふれるまち」となるよう、今後も力を尽くしてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 34・38 km²
- ◆ 人口 8万6622人
- ◆ 世帯数 4万596世帯

〔将来都市像〕暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり育むまち 高砂

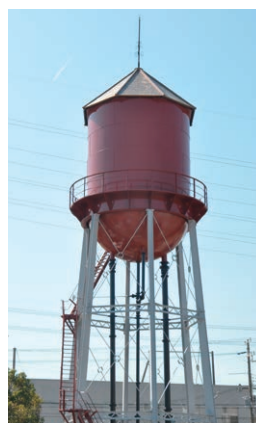
〔まちの特徴〕播磨臨海工業地帯の中核市として発展し、豊かな自然や歴史文化が息づく、今と昔が交差する、結びのまち



高砂市長
都倉達殊



〔特産品〕焼あなご、高砂にくてん、かしわ餅、竜山石、松右衛門帆
〔観光〕石の宝殿（生石神社）、相生の松（高砂神社）、工業松右衛門旧宅、市ノ池公園、向島公園
〔イベント〕たかさご万灯祭、各神社秋祭り、ナイトファンタジーイリュージョン



市の水道敷設のシンボルとして保存されている「旧朝日町浄水場配水塔」

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

千三百年の六郷満山文化から
未来を拓く宇宙港へ神仏習合の歴史と文化が
今なお残る信仰の里国東市は大分県の北東部、瀬戸
内海に丸く突き出した国東半島に
位置し、周防灘、伊予灘に面して
います。この地には、1300年前、神
と仏を調和させ敬う神仏習合の独

両子寺の参道に立つ仁王像

特な山岳仏教に
よる『六郷満山
文化』が花開き
ました。その信
仰と文化は、現
在まで地域の
人々によって受
け継がれ、今な
お16の六郷満山
寺院が存在する
ほか、春を迎え
る行事、修正鬼

会（国指定重要無形民俗文化財）

や、由来が謎の火祭り、ケベス祭
り（国選択無形民俗文化財）、ユネ
スコの無形文化遺産「風流踊」に
登録された吉弘衆などの祭りや、
国東塔や石造仁王像の石造文化財
が数多く残っています。交通が不
便なことから、以前は「陸の孤島」
と呼ばれ、開発が遅れた結果とし
て、寺院や石造物、祭りがそのま
まの形で残されており、日本の信
仰の原風景を見ることができると
が、本市の魅力です。また、世界
中で争いが絶えない今こそ、「異
文化を認め合い、共存する」とい
う神仏習合の精神は、世界に発信
すべきものであると思います。近年、国東の六郷満山文化に興
味を持つインバウンド客が増えて
いることから、本市が誇る寺院や
祭りにも多くの方々に訪れていた海、山、自然に恵まれた
世界農業遺産の地だくとも、次世代につなげて
いく取り組みを進めていきたいと
考えています。

本市は、瀬戸内海に面し、温暖

で穏やかな気候と豊かな自然に恵
まれたまちです。両子山を頂点と
して放射状に延びる谷筋には田園
や里山が広がり、お米をはじめ、
原木しいたけやオリーブ、タコ、
タイなど自然の恵みを受受した個
性豊かな山の幸・海の幸の宝庫で
す。平成25年5月には、クヌギ林
とため池がつなぐ農林水産循環と
して国東半島・宇佐地域が世界農
業遺産に認定され、国内で唯一と
なる七島しちとう蘭生産や日本一の原木
乾しいたけの生産が行われています。

国東半島峯道ロングトレイル K-1コース上の眺望

観光は人口減少時代において、
地域の経済を潤し、地域を活性化
する切り札となるものです。加え
て、宿泊、飲食、土産、交通、農林
水産業、伝統工芸など、関連する
産業の裾野が広く、今後の本市の
地域活性化において、観光振興・
観光戦略は非常に重要なものにな
ると考えています。本市は、六郷満山文化をはじ
め、僧侶が修行した峯入行のコー



アントニー・ゴームリー氏の現代アート作品



空港展望公園に設置したアート作品

スをベースに整備された国東半島
峯道ロングトレイル、そして、イ
ギリスを代表する現代彫刻家アン
トニー・ゴームリーさんの作品な
ど、市内各所に現代アートも設置
されています。また、海岸沿い
にはサイクリングロードが整備され
ており、夏は海水浴やマリンス
ポーツを楽しむことができます。

このように、自然、歴史・文化、
アクティビティ、芸術、食などた
くさんの観光資源があることも
に、1300年の深い歴史から現
代アートまで、長い時間軸を持つ
稀有な場所でありますので、今後
は、これらの観光資源を有機的に
結び付けて発信し、インバウンド
を含めた多くの観光客、特に高付

加価値旅行者を誘客していきたい
と考えています。

宇宙港を目指す大分空港

大分空港が立地している本市
は、東京や名古屋、大阪など都市
部へのアクセスも充実しています。

昭和59年には、県北国東地域テ
クノポリス構想の地域指定を受
け、大分空港周辺には先端技術産
業を中心に多くの企業が進出し、
ものづくりのまちとして成長し、
現在、本市における雇用の創出も
けん引していただいています。

その大分空港は、令和6年秋に
は大分市との間に国内で唯一とな
るホーバークラフトの運航が開始
される予定です。さらには、将来の

「宇宙港」を目指してい
ることから、今後、本市
に新しい価値をもたら
してくれるものと大き
な期待を寄せています。

宇宙ビジネス市場規
模は、2021年には
約52兆円に達し、20
40年には約135兆
円になる予測もあり大
幅な成長が期待される
市場です。宇宙港が実

現すること、大分空港周辺に

は、機体整備拠点や宇宙飛行士用
の医療機関、宇宙利用の研究施設
などが立地し、従業員の移住・定
住により人口の増加が図られると
ともに、高度な次世代人材の育成
を推進しやすい環境が整います。

また、宇宙関連産業は、宇宙空
間への人工衛星やロケット打ち上
げのみならず、『宇宙×観光』『宇
宙×教育』『宇宙×農業』『宇宙×

プロフィール

- ◆ 面積 318.1km²
- ◆ 人口 2万5271人
- ◆ 世帯数 1万3058世帯

〔将来都市像〕未来へ、そして宇宙に
つながる悠久の里 国東

〔まちの特徴〕豊かな自然に、1300
年を超える悠久の歴史と文化、そして
多様な産業が息づくまち

〔市町村合併〕平成18年3月31日、国
見町、国東町、武蔵町、安岐町の4町
が合併



国東市長
松井督治



〔特産品〕原木しいたけ、オリーブ、
大分味一ネギ、キウイフルーツ、タコ、
タイ、サワラ、七島蘭

〔観光〕寺院（六郷満山）、国東半島峯
道ロングトレイル、現代アート、サイ
クリング、マリンスポーツ

〔イベント〕弥生のムラ 端午の節句、
くにもマリンフェス、吉弘祭、川舟祭、
むさしの里の夕涼み 夏の夜まつり、
ケベス祭、修正鬼会

食』など非宇宙分野のさまざまな
産業との連携の可能性を秘めてお
ります。

大分空港の宇宙港化は、過疎
化、高齢化、少子化、人口減少、産
業の衰退などの地域課題を解決で
きる要素を持つプロジェクトであ
り、千載一遇のチャンスと捉え、
大分県と連携を図りながら、宇宙
港の実現に向けた取り組みを進め
ていきたいと考えています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、
人口・世帯数は「住民基本台帳」による。